

## 令和2年度 第5回板倉区地域協議会 次第

日 時：令和2年10月8日（木）

午後6時から

場 所：板倉コミュニティプラザ

201・202会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 所長あいさつ

4 協 議

- ・地域協議会委員視察研修について（資料1）

5 報告

- ・第3セクターの経営状況について（資料2-1、2-2）

6 その他

7 閉 会

- ・次回（第6回板倉区地域協議会） 月 日（ ）午後6時～  
板倉コミュニティプラザ

## 令和 2 年度板倉区地域協議会 視察研修計画（案）

テ ー マ	板倉区の主要施設・事業の確認
日 程	令和 2 年 1 0 月 2 8 日（水） 9：3 0～1 5：4 5
参 加 者	板倉区地域協議会 16 名（委員 14 名、随員職員 2 名）
研 修 概 要	<p>【目的】 今年度の地域協議会委員の改選で 10 名が新たに任命されたことから、改めて板倉区内の主要施設及び地域活動支援事業の現場を確認し、今後の板倉区の自主的審議や地域協議会委員の見識の向上に役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設再配置計画関係…板倉北部スポーツセンター、光ヶ原高原関連施設（グリーンパル光原荘、キャンプ場等）、光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森、やすらぎ荘</li> <li>・区内主要施設…旧寺野小学校、旧筒方小学校、地すべり資料館、ゑしんの里記念館、山寺薬師、板倉北部工業団地、上越市スマート農業プロジェクト実証事業（高野）</li> <li>・地域活動支援事業関係…宮嶋小学校、丈ヶ山、箕冠城址公園、国川地すべり跡、栗沢桜の里、やすらぎ荘周辺、光ヶ原高原</li> </ul>
行 程	<p>9:30 板倉コミュニティプラザ集合・出発 （マイクロバス 1 台で移動）</p> <p>9:35～9:40 板倉北部スポーツセンター、板倉北部工業団地</p> <p>9:45～9:50 高野地内（スマート農業プロジェクト実証事業）</p> <p>10:00～10:10 ゑしんの里記念館</p> <p>10:20～10:35 箕冠城址公園</p> <p>10:45～10:55 旧寺野小学校</p> <p>11:00～11:15 地すべり資料館</p> <p>11:20～11:30 やすらぎ荘及び周辺</p> <p>11:30～12:30 昼食・休憩（やすらぎ荘）</p> <p>12:40～12:45 山寺薬師</p> <p>12:50～12:55 丈ヶ山入り口</p> <p>13:10～13:15 栗沢桜の里</p> <p>13:20～13:30 旧筒方小学校</p> <p>13:50～14:50 光ヶ原高原（わさび田の森、高原センター、難局打破の鉄球、グリーンパル光原荘）</p> <p>15:15～15:20 玄藤寺あやめの里</p> <p>15:30～15:40 宮嶋小学校、国川地すべり跡</p> <p>15:45 板倉コミュニティプラザ着・解散</p>

## 出資法人等経営状況報告書

### 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和2年8月25日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和2年3月31日現在の内容です。

### 2 法人等の概要

法人名	一般財団法人 糸しんの里観光公社		
代表者	理事長 渡邊 信夫		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市板倉区米増27番地4		
設立年月日	平成元年4月27日		
基本金	30,000千円	市出捐割合	85.0%
設立目的	光ヶ原高原を中心として地域に潜在している観光資源を掘り起こし、それを有効に活用しながら地域の魅力を広く普及する観光事業に努め、潤いと活力ある地域づくりに寄与する。		
主な事業	(1) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘における食堂運営 (2) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘の管理業務の受託、信越トレイルの情報発信 (3) 板倉そば打ち体験交流施設いたくら亭の経営 (4) 糸しんの里記念館の管理運営業務 (5) 観光情報の発信及び宣伝活動（観光パンフレット及びチラシの作成、報道機関への情報提供） (6) 各種観光イベントの開催及び参加 (7) 上越観光コンベンション協会等と連携して行う観光客の誘致活動		

### 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	0	10	10	1	0	9
監事	0	2	2	0	0	2
計	0	12	12	1	0	11

### 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	7	7	0
計	9	9	0

## 5 事業実績（概要）

### 【令和元年度の経営状況】

- ・ 令和元年度の経常収益は、前年度と比較して5,439千円減（12.6%の減）の37,609千円となりました。このうち、基本財産運用益は、前年度と同額の363千円となりましたが、事業収益は、ゑしんの里記念館での売店売上が減少したことなどにより、前年度と比較して1,958千円減（8.4%の減）の21,279千円となりました。
- ・ 経常費用は、前年度と比較して1,631千円減（4.0%減）の38,876千円となりました。
- ・ この結果、当期一般正味財産増減額は△1,496千円となり、令和元年度末の正味財産期末残高は44,666千円となりました。

### 【令和元年度の事業概要】

#### ゑしんの里記念館

- ・ 記念館としての役割を維持しつつ、施設環境をいかし、東西本願寺等の冊子や機関紙等への記事・広告の掲載を行いました。
- ・ 令和2年10月に開催予定の恵信尼750回忌の法要に向けて、内外の関係団体と深く連携しながら、関連団体の機関紙に投稿、広告等を掲載し、集客活動を行いました。

#### そば打ち体験交流施設いたくら亭

- ・ 中山間地域の生産者と協力し、板倉そばのブランド化に向けた取組を促進しました。
- ・ 各種イベントの実施及び新メニュー開発により、板倉そばの販売拠点として知名度の向上に向けた活動を行いました。

#### 光ヶ原高原グリーンパル光原荘

- ・ 信越トレイル利用者向けのサービス向上を図るため、信越トレイルクラブやゑしんの里やすらぎ荘等との連携など、利用促進に向けた活動を行いました。

### 【各施設の利用実績】

（単位：人）

施設名	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年比
ゑしんの里記念館	目標	13,000	13,000	11,000	△2,000
	うち 自主事業	2,000	2,000	2,000	0
	実績	10,733	11,344	8,571	△2,773
	うち 自主事業	8,650	5,576	3,092	△2,484
そば打ち体験 交流施設いたくら亭	目標	14,000	14,000	14,800	800
	実績	13,928	13,922	14,068	146
光ヶ原高原 グリーンパル光原荘	目標	2,000	2,000	2,300	300
	実績	1,438	1,225	1,205	△20

- ・ ゑしんの里記念館の利用者数は、多目的ホールや和室の利用件数の減少などにより、前年度と比較して2,773人減（24.4%の減）の8,571人となり、開館以来初の1万人を割り込みました。
- ・ そば打ち体験交流施設いたくら亭の利用者数は、前年度比146人増（1.0%増）の14,068人となりました。
- ・ 光ヶ原高原グリーンパル光原荘の利用者数は、前年度比20人減（1.6%減）の1,205人となりました。

6 財務状況（税込）

（単位：千円）

項目		平成29年度 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	平成30年度 自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	令和元年度 自平成31年4月1日 至令和2年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	經常収益	43,216	43,048	37,609
	基本財産運用益	181	363	363
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	22,924	23,237	21,279
	受取補助金等	20,051	19,409	15,946
	その他經常収益	60	40	20
	經常費用	44,218	40,507	38,876
	事業費	40,575	37,507	35,969
	管理費	3,644	3,000	2,907
	当期經常増減額	△1,002	2,541	△1,267
	經常外収益	0	0	0
	經常外費用	137	120	103
	当期經常外増減額	△137	△120	△103
	税引前当期一般正味財産増減額	△1,139	2,421	△1,370
	法人税等	98	126	126
	当期一般正味財産増減額	△1,237	2,296	△1,496
	一般正味財産期首残高	15,103	13,866	16,161
	一般正味財産期末残高	13,866	16,161	14,666
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	30,000	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	30,000	
正味財産期末残高	43,866	46,161	44,666	
項目	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	令和2年3月31日現在	
貸借対照表	資産	56,129	56,849	53,663
	負債	12,264	10,688	8,997
	正味財産	43,866	46,161	44,666
	指定正味財産	30,000	30,000	30,000
	一般正味財産	13,866	16,161	14,666

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	ゑしんの里記念館 指定管理委託料	16,990	16,920	13,275	
②	グリーンパル光原荘等 管理業務委託料	2,661	2,088	2,271	
③					
④					
⑤					
計		19,651	19,008	15,546	

### (2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	補助金（助成金）	400	400	400	観光事業補助金
②	貸付金				
③	損失補償				
④	債務保証				
⑤	その他（ ）				
計		400	400	400	

## 8 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

情報発信を幅広く行い、近隣地域とも連携を図った企画を実施するとともに、各施設においては、集客を目指し、次の取組を強化します。

- ゑしんの里記念館
  - ・ 宴会、法要など地域住民の利用促進を図り、多目的ホール等を利用した賑わいを創出します。
- そば打ち体験交流施設いたくら亭
  - ・ そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域一番店を目指します。
- 光ヶ原高原グリーンパル光原荘
  - ・ 信越トレイル等利用者向けに特化した活動を促進します。

【令和2年度集客目標】

（単位：人）

ゑしんの里記念館	14,500
そば打ち体験交流施設いたくら亭	15,200
光ヶ原高原グリーンパル光原荘	2,300

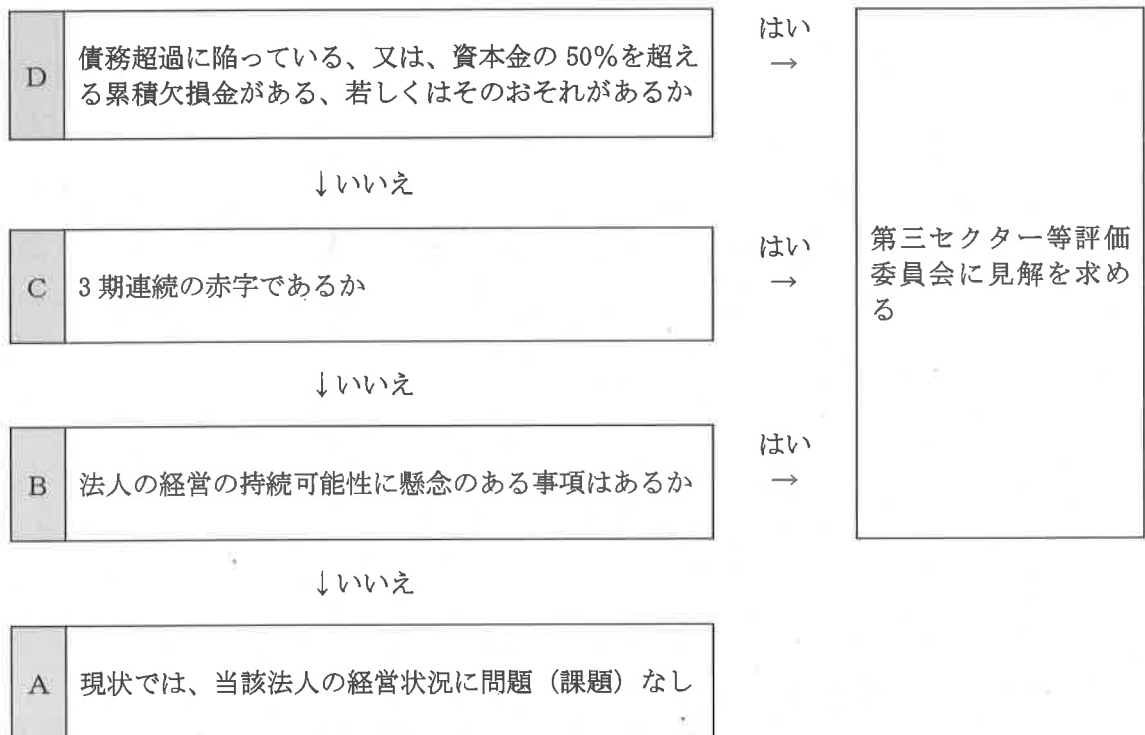
### (2) 中長期経営計画

なし

9 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】		





法人名 **黒倉ふるさと振興株式会社**

所管部署 産業観光交流部 施設経営管理室

## I 基本事項

※以下は、令和2年3月31日現在の内容です。

## 1 法人の概要

設立年月日	平成7年7月3日		設立後 24年 8月 経過	代表者	代表取締役 古澤 公男	常勤	プロパー			
設立目的	上越市の所有若しくは管理する不動産及び温泉保養施設並びにその他の管理運営、飲食店、仕出し料理店の経営、食料品、酒類、清涼飲料、観光土産品、たばこ、医療品、新聞、書籍、日用雑貨の販売、観光広告及び宣伝事業、各種イベントの企画構成等の事業を行うために設立した。			事業概要	・板倉保養センターの管理運営					
資本金	20,000 千円			理事・取締役	監事・監査役	計	内訳			
出資者(上位5)	出資額	出資割合					プロパー	市派遣	市兼務	その他
JHD(株)	20,000 千円	100.0 %	役員	1		1	1			
	千円	0.0 %		非常勤	1	1	2	2		
	千円	0.0 %		計	2	1	3	3	0	0
	千円	0.0 %	職員	—	—	5	5			
	千円	0.0 %		正規職員	—	—	1	1		
	千円	0.0 %		臨時・パート職員	—	—	7	7		
出資状況の補足	なし		その他	—	—	7	7			
増資・減資の状況	なし		計	—	—	13	13	0	0	0

## 2 法人の経営状況等（事業開始後2か年及び最新の3か年）

（単位：千円）

貸借対照表	平成7年度	平成8年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度	損益計算書	平成7年度	平成8年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	40,873	53,643	～	26,784	20,415	20,643	売上高	69,919	119,379	～	73,272	71,802	75,863
負債	20,191	27,342		4,347	4,714	4,694	(うち市支出額)	不明	不明		3,426	3,426	7,360
純資産	20,682	26,302		22,437	15,701	15,949	売上原価	30,443	52,822		21,881	22,028	20,435
(うち資本金)	20,000	2,000		20,000	20,000	20,000	販売管理費	39,973	63,255		55,566	55,788	56,024
(うち利益剰余金)	682	4,603		2,437	△ 4,299	△ 4,051	営業利益	497	3,302		△ 4,175	△ 6,013	△ 596
予備的診断	A-1	A-1	～	A-2	A-4	A-3	経常利益	1,340	6,779	△ 3,480	△ 5,486	450	
特記事項							税引後純利益	682	3,921	△ 3,671	△ 6,736	248	

※予備的診断はA①：欠損金無・黒字、A②：欠損金無・赤字、A③：欠損金が資本金の50%未満・黒字、A④：欠損金が資本金の50%未満・赤字、B：欠損金が資本金の50%以上